

ひょうごため池だより



令和7年12月
第22号

- ◆ 令和7年度「ため池クリーンキャンペーン」実施報告
- ◆ 洲本土地改良事務所の取組紹介
- ◆ 簡易補修手引きの公開 ほか

発行 / 兵庫県農林水産部農地整備課



②街頭 PR 活動（南あわじ市）



①天満大池アサザまつり（稲美町）

ため池は農業用水を安定的に供給する機能以外に洪水調整や生物の生息・生育の場所の保全や地域の憩いの場といった多面的な機能を持つ地域の貴重な財産です。県と市町では、ため池保全活動の一環として「ため池クリーンキャンペーン」を展開し、ため池の適正な管理と多面的機能の発揮の促進に取り組んでいます。今回は東播磨・淡路地域で行われた活動を紹介します。

令和7年度「ため池クリーンキャンペーン」

実施報告



③青池ため池学習会（高砂市）

ひょうご
ため池保全
県民運動



ため池保全県民運動 HP

その他地域の活動については、ため池保全県民運動のホームページで紹介しています。左記の二次元コードからご覧ください。

①天満大池（稲美町）で9月28日に「アサザまつり」が開催され、約300人が参加しました。（写真①）ため池に生息する動植物の紹介や清掃活動、小型ボートを用いた水上クリーン作戦のほか、外来生物ミシシippアカミミガメの試食などが行われました。ため池マンも登場し、ため池を保全していくことの大切さを訴えました。

②三原ショッピングプラザパーティ（南あわじ市）において、10月9日に「ため池クリーンキャンペーン街頭PR活動」が実施されました。（写真②）ため池のパネル展示やリーフレットの配布のほか、兵庫県マスコット「はばたん」も会場に駆けつけ、ため池の保全や多面的機能の発揮についてPRしました。会場を訪れた約300人の県民からは、「ため池にはいろいろな役割があるということがわかった。」「ゴミを捨てないようにしよう。」「ため池をよりよく保つていくよう考えたい。」など感想が聞けました。

③青池（高砂市）で10月12日に「青池クリーンキャンペーン&ため池学習会」が開催され、約60人が参加しました。（写真③）青池でのクリーンキャンペーンは今年で4回目となり、参加者数も年々増加しています。

ため池学習では、ため池の役割やため池に行くときのお約束についての説明がありました。年齢を問わず誰でも参加しやすいように水利組合が事前に刈った堤体の草を集めました。参加者からは『自治会の町内放送でこのイベントがあることを知った。今回初めて参加し、ため池の役割などが学べてよかった。』との声が届き、青池を地元の方々に知ってもらいたい機会になっています。

皆さんの地域でも多世代参加によるため池保全活動に取り組んでみませんか。

洲本土地改良事務所の取組紹介

淡路島は、日本一のため池数を誇る兵庫県において、約半分が集まる地域です。

瀬戸内の温暖少雨な気候、大きな河川の不在、急な地形などが重なり、江戸時代以降、多くのため池がつくられました。

現在でも、農業用水源の約8割はため池です。田主（たず）と呼ばれるため池管理者が、一定ルールにしたがって利用しており、地域の農業を支えるうえで、なくてはならない存在です。

洲本土地改良事務所では、こうした島内のため池の安全性を高める工事や、田主の管理活動の支援、こどもたちへの教育・広報活動などに力を入れて取り組んでいます。

本稿では、島外の小学生に「かいぼり」を体験してもらったイベントを紹介します。

「Let's かいぼり体験 in 淡路」の開催

令和7年9月20日、ため池やかいぼりの大切さを広く伝えるため、コープこうべの協力のもと、島外の小学生を対象に、学習会とかいぼり体験を通じて、楽しみながらため池のことを知ってもらう「Let's かいぼり体験」を開催しました。



小学生のかいぼり体験

“泥を掻き出す作業は意外に大変、でも楽しかったよ！”

「淡路」を開催しました。学習会では、当所による「ため池の役割とかいぼりの目的」の紹介に続き、兵庫県漁業協同組合連合会から「豊かな海づくりにもたらす効果」の説明や、「ちりめんモンスター探し（ちりめんじゃこに混じる生き物の観察）」を通じて、海の生き物にもふれてもらいました。

その後、長瀬中池（淡路市）に移動し、泥をかき出す作業や、ため池や川にすむ生き物を水槽やタッチングプールで観察してもらいました。子どもたちからは「かいぼりはとても大変だけど、大切なことだと思った。」「泥を押してみるとやわらかくて気持ちよかった。」「亀やウナギ、魚にさわれて楽しかった、保護者か



ちりめんモンスター探し

“カニやエビ、タチウオの幼生、タツノオトシゴもいたよ～”

らも『かいぼりという言葉を初めて知った。』『小さなため池にも多くの泥が貯まっていた驚いた。』『海にも影響があるとは知らなかった。子どもたちにも良い学びになったと思う。』などの感想が寄せられました。

この取組の実施にあたっては、淡路市役所や、ため池管理者、地元消防団、兵庫県土地改良事業団体連合会、ため池保全サポートセンターの皆さまに事前準備から当日の対応までご協力いただいたほか、洲本実業高校や龍谷大学（株）パソナの皆さまにも当日の案内などご協力いただきました。なお、当日の様子はYouTubeに公開していますので、ぜひ左記の二次元コードからご覧ください。

「今後の新たな取組」

今年度からは、ため池の泥土を農地や海に直接還元し、栄養分として活用する新たな取組も支援しています。

試行錯誤の段階ですが、これからも農業者だけでなく漁業者など多様な団体に力を貸していただきながら、ため池の保全に取り組んでいきます。



「Let's かいぼり体験 in 淡路」
当日の様子を見てください！

携帯ゲームアプリ「ため池GO！」

東播磨県民局では、ため池群と水路網を地域の財産として、守り、活かす、次世代へ継承するため、多様な主体が参画し、地域全体を屋根のなみまるごと博物館「いなみ野ため池ミュージアム」として持続可能な地域づくりを展開しています。



令和5年2月にひょうごフィールドパビリオンの認定を受け、令和7年5月からはため池等への来訪者に向けて、明石高専と共同開発した携帯ゲームアプリ「ため池GO！」の運用を開始しています。

「ため池GO！」は、いなみ野ため池へ行こう！の略称で、東播磨に点在するため池を巡りながら生態系について学べる携帯ゲームアプリです。遊び方は、全32か所（R20時点）のスポットと呼ぶため池等へ行き、スマートフォンから専用サイトにアクセスしてスタンプやポイントを集めたり、ガチャを引いてポイントや生き物をゲットしたり、いろんなゲームが楽しめます。ポイントをとめてランキングで競争したり、すべての生き物をコンプ

ため池GO!



リットして図鑑を完成せたり、毎日近くのスポットに通ってみたり、自分の楽しみ方を見つけてください。スポットは今後も追加予定です。

さらに、本アプリを活用し、スタンプ5つを集めるとお買い物券がもらえるデジタルスタンプラリーや、明石市内の17号池魚住みんな公園などを巡るウォーキングイベントを開催しました。

最新のイベント情報やため池GO！の遊び方の説明など、詳しくは、いなみ野ため池ミュージアムエモへアクセスしてください。（右記の二次元コードを読み込むことでアクセスできます。）

ため池管理アプリの講習会開催

「ため池管理アプリ」は、スマートフォンにより点検結果を現地で入力・報告でき、写真も送付できるアプリです。

ため池の管理者は、震度5弱以上の地震発生時や大雨特別警報が発表された後、ため池の緊急点検を実施し、その結果をすみやかに市役所や町役場に報告する必要があります。「ため池管理アプリ」の利用により、電話連絡等が不要になり、点検結果の報告にかかる時間が大幅に短縮できます。



南あわじ会場の様子

南あわじ市では2日間の日程で「令和7年度ため池管理アプリ操作・管理者講習会」が開催され、4会場で合計71名の方々に参加いただきました。

また、兵庫県和田山庁舎で開催された朝来市と養父市合同の講習会では、21名の方が参加されました。

いずれも、農林水産省近畿農政局より講師を招き、アプリの重要性に加え、インストール方法や操作方法の説明、地震時



和田山会場の様子

を想定した演習が行われました。

県内のアプリ登録者数は、令和5年度比の2.7倍まで増加しており、多くの方に活用いただいています。登録がまだの方は、ぜひご活用ください。

※アプリでは管理するため池を登録するために、管理者コード等が必要です。

ご不明な点につきましては、兵庫県農地整備課農地防災班078-341-3433 (nouchiseibika@pref.hyo.go.jp) までお願いします。アプリのダウンロードは左記の二次元コードから行うことができます。

Android



【Google play】

iPhone



【App Store】

ため池の劣化や不具合に早めの対応を

―簡易補修手引きの公開―

近年、老朽化が進むため池の維持管理においては、日常管理の中で見られる劣化や不具合に早めに対応することが重要です。

が、動画作成に適した現場が見当たらなかったため PDF 形式で整理しました。

兵庫県では、管理者が自ら行える簡易な補修から、専門業者の協力が必要な中規模の補修までを整理し、堤体、洪水吐、取水施設などの施設ごとにまとめた「ため池の簡易補修に関する手引き」を作成しました。手引きは補修事例を写真や図を中心に紹介し、作業の手順やポイント、注意点を分かりやすく説明しています。

手引きでは、地域で実践できる補修の工夫や、早期対応によって被害の拡大を防ぐ事例も紹介しています。ため池を安全に守り、地域の大切な資源として将来にわたって有効に活かしていくための参考として、ぜひご活用ください。手引きは、兵庫県ため池保全県民運動のホームページに掲載しています。二次元コードからもアクセスできます。



ため池簡易補修の手引き

特定外来生物ナガエツルノゲイトウにご注意

稲作やため池・水路の管理に悪影響を及ぼすナガエツルノゲイトウが県内各地で発見され、侵入地域が拡大しています。皆さんの農業水利施設を守るためには、早期発見・早期対策が重要です。ナガエツルノゲイトウと思われる植物を発見した場合は、右記の二次元コードをスマートフォン等で読み取って、発見場所や発見時の状況などの情報をお寄せいただくようご協力をお願いします。



目撃情報通報フォーム

管理者が交代した場合などは変更届の提出が必要です

すべてのため池で、「管理者の氏名」、「所在地」等の届出が必要です。現在、大部分のため池で届出がなされていますが、個人所有の小さなため池で届出がまだとなっているものが多く、届出がまだのため池は早期に届出をお願いします。また、管理者交代など、届出内容に変更が生じた際には、「既存ため池変更届出書」により提出をお願いします。ため池の届出に関することは、お住まいの市役所、町役場にお問い合わせください。

アンケートに回答で協力をお願いします

ため池の施策を展開するために必要な情報収集を目的に管理者のみなさまを対象としたアンケートを同封していますので、「ため池保全県民運動」についてのご意見お聞かせください。右記の二次元コードを読み込み、ウェブで回答をお願いします。読み込みが難しい場合は、下の問い合わせ先まで電話、FAX またはメールでご回答ください。ご協力よろしくお願いします。



アンケートの回答はこちらの二次元コードから

ひょうごため池だより 令和 7 年 12 月 第 22 号

【問い合わせ】兵庫県 農林水産部 農地整備課
〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1
TEL : 078-362-3434 FAX : 078-341-2101
Mail : nouchiseibika@pref.hyogo.lg.jp

編集後記

多くの方々に協力いただき発刊することができました。興味を持って読んでいただけるよう精進しますので、よろしくお願いします。(勝)